



特定非営利活動法人廿日市市身体障害者福祉協会
〒738-0014 廿日市市住吉二丁目2番16号
市民活動センター内
発行責任者 小泉 敏 信
電 話 (0829)32-2023 (FAX 兼用)
Eメール shinsyo-kyo@hatnet.jp
発 行 2008年 10月 1日

第4回障害者と市民のフェスティバル 文化の日に映画と吹奏楽を楽しもう！

= 11月3日(祝) はつかいち文化ホール さくらびあ大ホール =



毎年行っていますチャリティーコンサートを今年から、「障害者の文化とスポーツを発展させる大会」と名称変更し、実行委員会も一本化しました。

その理由として、障害者の社会参加促進事業と位置づけ少しでも障害者が家庭から地域へ出られるよう行政の支援も受けながら「障害者同志の交流」と「障害者と地域の人たち」との幅広い交流を目的として作られた組織です。

すでに9月7日に障害者スポーツ大会を終了し、11月3日(祝)の文化活動に向けて準備しております。

今までは広島大学の吹奏楽団の演奏会でしたが、

今年は、廿日市市の大野東中学校と七尾中学校両吹奏楽部の演奏会と障害者の社会参加を題材にしている映画上映会です。

ある日突然、ひとつの「自由」を失った高校生(主人公・健太)が車椅子バスケットの中に自分の居場所を見つけ新しい人生をつかんでいくというストーリーの「ウイニングパス」を上映します。

さくらびあ大ホールですので、1,100名を目標に市内の廿日市市や教育委員会、文化団体や廿日市市PTA連合会、老人クラブ連合会を始め、多くの支援団体のご協力をいただくとともに、協賛いただける企業にもご支援をいただいています。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。参加に際しては、支援協力金 500円をよろしくお願いします。

第5回県西部障害者ふれあい交流スポーツ大会

総勢400名で大成功！



9月7日(日)に、廿日市スポーツセンターサンチェリーで第5回広島県西部障害者ふれあい交流スポーツ大会が選手、ボランティア総勢400名が参加し、盛況に開催されました。

大会には、眞野廿日市市長、西尾大竹市教育長、登廿日市市議会議員、今橋廿日市市教育長、平口衆議院議員、松本衆議院議員、安井県議、山下県議、大井県議、櫻井社協、民生委員協会長、望月佐伯地区医師会長、看護協会廿日市支部など、20名ものご来賓を迎え開会式が盛り上がりました。

最初に、大会実行委員長の廿日市身障協会の小泉敏信理事長から、「障害者にとって、この大会のような外に出る行事は少なく大変意義深い。行政や、社会福祉協議会、民生委員や体育指導員、市の職員で作る自治労はつかいちユニオン、七尾中学校、廿日市西高校、大竹高校そして、多くのボランティアの皆様のご協力で大大会が運営できることに心から感謝します。」とのあいさつがありました。

選手宣誓では、大野地域から岡崎さんと今田さんから「一生懸命頑張ります。」と力強い宣誓があり、その後、来賓11名によるフライングディスクの始球式を行い競技が始まりました。



ピンボウリング

= 私は、大会実行委員長として運営に当たりましたが、ご協力いただきました廿日市市、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、体育指導委員協議会、佐伯地区医師会、看護協会廿日市支部、自治労はつかいちユニオン、七尾中学校、廿日市西高校、大竹高校の皆様にはボランティアとして大変お世話になりました。昼時間には、地元阿品台の阿巖太鼓の皆さんの迫力ある太鼓演奏もあり、参加者からは「大変楽しい一日を過ごすことができた来年もぜひ参加したい。」「賞品もたくさんあり頑張りました。」と嬉しい声も聞くことができました。

障害者にとっては、なかなか外出の機会が少なく病院と家の往復という人も少なくありません。ましてスポーツをする機会は皆無ですので、このような大会は続けていきたいと思っています。=

競技スポーツに興味がある方は毎年5月に東広島で障害者陸上競技大会もあり、全国大会もありますので、廿日市市身障協会(0829-32-2023)までご連絡ください。ぜひ来年もまたお会いしましょう。



= 閉会式で感謝状を受ける廿日市西高校、大竹高校、七尾中学校の生徒の皆さん =



= 閉会式での表彰式で表彰される廿日市の支部牧本さん =

12月7日障害者週間の啓発活動！



= 昨年の障害者周知活動の風景 =

今年も、12月の障害者週間に障害者の社会参加と理解をして頂く啓発活動を12月7日(日)に行います。

啓発活動は、NPO法人廿日市市身体障害者福祉協会、くさのみ福祉会、さくら作業所などの障害者団体と市行政、社会福祉協議会、民生児童委員協議会などで行います。

現在、障害者を取り巻く環境は景気の低迷や障害者自立支援法の導入や医療費改革による自己負担の増加、まだまだ残っている障害者差別に対して、少しでも障害者のことを理解していただき、社会の中で自立した生活ができるよう啓発するものです。

今年は、今年2月に起こったJR前空駅での視覚障害者のホームから転落死亡事故を教訓に、整備されましたJR宮内串戸駅を含む駅周辺のバリアフリー化を調査し、障害者の立場から調査研修しよう考えています。

前空駅の事故も目が見えていればホームの下が避難場所になっていて逃げることもできていたとも考えられ、障害者団体での実施訓練や障害者への情報提供は欠かせませんが、避難場所や警報装置の設置は障害者だけでなく健常者にも必要なものですので、引き続き改善要望をしていきたいと思っています。

いずれにしても、障害者が実施に調査し少しでも住みやすい交通機関、社会参加ができるよう頑張りたいと思います。

おしらせ

当協会は、毎年賀状を販売しています。その一部が手数料として福祉協会の活動の一部として活用されています。

この他にも、切手やはがき、印紙なども販売しております。

10月30日



駐車規制及び駐車許可制度の運用の見直しに 対して警察庁と協議、要望書を提出



日身連(日本身体障害者団体連合会)では、平成19年2月に警察庁から通達された「駐車規制及び駐車許可制度の運用の見直し」について、同年6月、警察庁交通規制課長に対して“現行基準が配慮されるよう特段の理解と配慮をお願いするとともに、適切な運用が実施されるように各都道府県警察への指導と日身連との協議を強く求めた要望書を提出する一方、各加盟団体を通して改正後の実態調査を行う等してきた。

通達以降から数次にわたる警察庁との協議のなか、平成20年5月の日身連理事会には、警察庁交通規制課長補佐平松伸二警視から制度上の説明があり、各地域で生じている標章交付の対象範囲、標章の使用範囲の制限等の課題に対する出席理事からの発言を受け、警察庁としても継続して対話の機会を設け対応していきたい、との話しがあった。同月29日の日身連評議員会(こうち大会)では、今回の制度見直しから生じた課題について、早急に警察庁等へ要請活動を行うべきであるとされた。

このことを受け、8月19日、小川榮一日身連会長、副会長並びに各ブロック代表者と警察庁との協議がもたれ、地域における現状への認識と、さらに、“全国統一として下肢不自由にかかる対象範囲については4級までの各級に見直すこと”を要望した。

警察庁交通局交通規制課
課長 牛嶋 正人 様

社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
会長 小川 榮一

「駐車規制及び駐車許可制度の運用の見直し」にかかる要望事項

平成19年2月6日付、警察庁丙規発第5号、丙交指第5号並びに警察庁丁規発第19号、丁交指発第11号通達による「駐車規制及び駐車許可制度の運用の見直し」により、各都道府県公安委員会において、道路交通法施行細則の一部を改正する規則が施行されました。

今回の見直しでは、利便性を図るために実施された除外標章の本人交付のほか、これまで全国で整備されていなかった交付基準の策定や新たな障害種別を対象とする等、障害者の現状にご配慮いただいたことには、一定の評価をしているところです。

しかし、その見直しの一部(対象範囲の一部)については、現在進められている障害者権利条約の批准に向けた関係省庁における法制度の整備等や、国の障害者福祉施策の核でもある障害者基本法、障害者自立支援法、バリアフリー新法等の“障害者の自立と社会参加の促進”という基本理念に鑑みれば、その理念に沿ったものではないと考えます。また、交通に関する官民における福祉サービスが実施されていることは、障害者の経済的負担を軽減し、自立と社会参加の促進を目的とした施策であり、障害者に対する社会通念上の理解からの配慮であるといえます。

理念上のことだけでなく、実態としても、肢体不自由者のうち特に約4割を占める下肢障害者の場合、公共交通機関利用の移動には大きな困難をもっております。また、今回の見直しによって、移動の利便性が損なわれ日常生活や社会参加へ深刻な影響が生じていることが、日身連に対し加盟団体から報告とともに、下肢障害の対象範囲の見直しを強く要請されています。

これまでの間、日身連は、警察庁と数次にわたり積極的な話し合いの場をもってまいりました。各都道府県においても、当該都道府県の警察本部と加盟団体との協議が行われていますが、多くの都道府県では、課題の解決のための対策が講じられないまま、今日に至っている状況です。

これらのことから、日身連としては、社会の理解の上で、障害者のおかれている状況を十分に配慮した標章交付の対象範囲となるよう、下記について、強くお願いいたします。

記

上記警察庁丁規発第19号、丁交指発第11号通達で示されている表(別紙)にある“下肢不自由1級から3級の1までの各級”を“下肢不自由1級から4級までの各級”に見直しをいただきたい。

以上



“障害者のためのクリスマス会” 友達を誘って来てね!

=12月14日(日)13:30から あいプラザ=



= 昨年のクリスマス風景 =

少し早いかもしれませんが、今年も恒例の“障害者のクリスマス会”を行います。

廿日市吹奏楽クラブの皆さんに毎年ご協力いただき、クリスマスソングを始め、聞きなれた曲を演奏して頂きます。

体操を取り入れ、ビンゴゲームを行い賞品も出ます。楽しい一日にしたいと思っていますので、友達を誘ってあいプラザに来てください。準備の都合上 12/10 までに人数をお知らせください。

事務局からのおしらせ

協会事務局長の専従解除について
当協会の赤字運営が人件費削減につながり、事務局長の専従が解除になりました。

会員及び関係機関のみなさまにつきましては、今後、事務局長は、ボランティアで勤務いたします関係上なるべく、協会のみなさまにご迷惑がかからないようにしていきたいと思ひます。

今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

“障害者のためのクリスマス会”

とき : 2008年12月14日(日) 13:30 ~

ところ : 健康福祉センター
あいプラザ 1階多目的ホール

かいひ : 一人 500円 (ビンゴゲームあり)
* 飲み物とお菓子が出来ます。

* 市民ボランティアを募集しています。

賛助会員・ご寄付いただきました方々ありがとうございました。

特定非営利活動法人 廿日市市身体障害者福祉協会は、会員の会費と市からの補助、企業や団体からの賛助会員の皆様の善意のご支援によって成り立っています。

私たちの「完全参加と平等」を成し遂げるため、私たち自身の会費は、その基盤となるものです。早急に会費の納入をよろしくお願ひします。

年会費 : 一口 1,000円(何口でも結構です。)
賛助会費 : 一口 1,000円(何口でも結構です。)
団体賛助会費 : 一口 5,000円(何口でも結構です。)

振り込み先

郵便振替 01380-1-9

廿日市市身体障害者福祉協会です。

賛助会員(個人)

順不同敬称略

(団体)

・木下由美香	・脇田 敏明	・岡本 敏子	・須藤 勝	・生川 明宏	・榊井文具	・(株)山形
・川本 義弘	・飯田 元隆	・高橋 澄子	・山本 イツ子	・生川加代子	・(株)鳥居屋	・(株)竹内
・下川 真稔	・櫻井 正弥	・品川 博美	・松本 重隆	・石原 顕	・宮島ホテルまこと	
・野田 崇	・今田 敏昭	・荒木 嘉信	・井町 佳世子	・松尾 貞美	・安芸グランドホテル	
・榊井 祐司	・石田 尚史	・市村 章	・佐々木 玲子	・中尾 栄子	・(株)ウッドワン	
・迫本 孝昭	・桜井 征子	・平田 信子	・上吹越なつみ	・阿部 純二	・(株)やまひ	・原商店
・濱本 恭子	・広兼 迪也	・小林 寛子	・中丸 光子	・龍野 伸子	・セブンイレブン大野更地店	
・今橋 孝司	・山下 三郎	・保坂 武	・吉賀 忠雄	・小野 武夫	・富士整備(株)	
・細井三千男	・瀬田 律義	・野間 至	・岡野 昌人	・金子 幸子	・大竹市身体障害者福祉協会	
・小田 豊司	・迫田 民江	・岡田麻里子	・倉田 史紳	・中丸 光子	・(株)A&C	
・重松 和弘	・和田 せつ	・藤井 信之	・梶本 進	・中田 英夫	・松本クリニック	
・西田 房子	・田宮 嘉人	・井上佐智子	・高橋 博史	・魚坂 隆	・あまのクリニック	
・中本 幸子	・吉岡 福夫	・松本 太郎	・細川 匡	・小泉 信	・富士企業(株)	
・大井 哲郎	・佐神 節子	・新田喜代子	・井上 わこ	・伊達 知恵	・廿日市記念病院	
・鈴木 弘子	・上垣内弘子	・中田 安義	・今津 俊昭	・吉山 允	・洞井電気工事(株)	
・八木 琢之	・木村 治	・中田チカ子	・平口 洋	・徳 誠一	・もみのき森林公園協会	
・中村 正則	・沖村 進	・内田 耕治	・新居 博信	・網谷 勝市	・廿日市市役所吉和支所有志一同	
・古本 惇	・安井 一壯	・川口 慧悟				

・会費未納の方は、会費の納入のご協力をお願いいたします。